特許協力条約

PCT

国際予備審査報告

REC'D 1 1 MAR 2004

(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 FPCT10930	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。								
国際出願番号 PCT/JP03/16935	国際出願日 (日.月.年) 26.12、2003 優先日 (日.月.年) 07.01.2003								
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' A61B8/00									
出願人 (氏名又は名称) 株式会社日立メディコ									
·									
1. 国際予備審査機関が作成したこの国	国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。								
2. この国際予備審査報告は、この表紙	を含めて全部で 3 ページからなる。								
この国際予備審査報告には、附属審類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。 (PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照) この附属審類は、全部で ページである。									
3. この国際予備審査報告は、次の内容	を含む。								
I × 国際予備審査報告の基礎	·								
Ⅱ □ 優先権	<u>-</u>								
Ⅲ	上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成								
IV 開の単一性の欠如	·								
V × PCT35条(2)に規定す の文献及び説明	上」								
VI									
VII 国際出願の不備	VII 国際出願の不備								
VII 国際出願に対する意見	VII 国際出願に対する意見								
•	·								
国際予備審査の請求書を受理した日	国際予備審査報告を作成した日								
26.12.2003	24.02.2004								
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP)	特許庁審査官 (権限のある職員) 2W 9808								

右髙 孝幸

電話番号 03-3581-1101 内線

3290

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

Ι.	(国際予備審査報	男告の其項	*					
									
1.		この国際予備9 ぶ答するためん P C T 規則70.		いこだ しぜんか	替類に基づいて作成され 日紙は、この報告書に	れた。(法第6条(P C おいて「出願時」とし、	CT14条)の規定に基づく命令に 本報告書には添付しない。		
	×	出願時の国際	读書願出祭	Ĭ					
		明細掛	第		~- <i>></i> ,	出願時に提出されたも	• •		
		明細審	第		ページ、		と共に提出されたもの		
	_	明細書	第		~ジ、		付の書簡と共に提出されたもの		
	Ш	請求の範囲 請求の範囲	第 第		項、	出願時に提出されたも			
		請求の範囲	第		項、 項、	PCT19条の規定に	基づき補正されたもの		
		請求の範囲	第			国際 ア 偏番 金の 請求 書	を共に提出されたもの _ 付の書簡と共に提出されたもの		
ĺ		図面	第		ページ/図、	出願時に提出されたも	, o		
		図面	第		ページ/図、		と共に提出されたもの		
		図面	第		ページ/図、		_ 付の事簡と共に提出されたもの		
Ŀ		明細書の配列	表の部分	第	ページ、	出願時に提出されたも	Ø		
		明細書の配列 明細書の配列			ページ、	国際予備審査の請求書	されに提出されたもの _ 付の 魯簡と共に提出されたも の		
2.	上	:配の出願審類	の言語は	、下記に示す	場合を除くほか、 ェク	国際出願の言語である			
		記の書類は、					•		
	_	- 叩ップロスストム、	ト配の日	暗でめる	語である	· ·			
	□ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語 □ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語 □ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語								
3.	<u>_</u>								
•	_	_				り、次の配列表に基づ	き国際予備審査報告を行った。		
	□ この国際出願に含まれる 書面による配列表								
	Ļ				対気ディスクによる配?				
	Ļ	」 出願後に、	この国際	予備審査(ま	ミたは調査)機関に提品	出された書面による配列]表		
	Ļ	」出題後に、	この国際	予備審査(ま	ミたは調査)機関に提出	出された磁気ディスクに	よる配列表		
	L	出願後に扱 _ 書の提出が	≧出した書 ゞあった	面による配列	表が出願時における	国際出願の開示の範囲を	対対しています。 超える事項を含まない旨の陳述		
	L	」 書面による があった。	配列表に	記載した配列	と磁気ディスクによる	る配列表に記録した配列	が同一である旨の陳述書の提出		
4	_補	正により、下		が削除された。	,	•			
Ļ	==		第		ページ		•		
Ļ	_	• • • • •	第		項				
L		図面	図面の第		ページ	/図			
5. この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1. における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)									
							•		
							j		
				•					

国際予備審査報告

国際出願番号 PCT/JP03/16935

v.	新規性、進歩性又は産業上の利用可能 文献及び説明	8性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解 	ら、それを裏付ける
1.	見解		
	新規性(N)	請求の範囲 <u>1-20</u> 請求の範囲	有 無
	進歩性(IS)	請求の範囲 <u>1-20</u> 請求の範囲	
	・ 産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 <u>1-20</u> 請求の範囲	
<u> </u>			

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

請求の範囲1-20について

相補的関係にある複数の変調符号を配列してなる符号セットによって、基本波を順 次変調して符号化駆動信号として探触子に出力して超音波ビームを送波し、探触子から出力される各受信信号を先の符号セットの各変調符号に対応する復調符号によって 復調する第1の符号化送受信工程と、第1の符号化送受信工程で復調した各復調信号

を合成して第1の合成信号を得る工程と、 先の符号セットの変調符号の配列順を逆にした複数の変調符号からなる逆符号セッ トによって、基本波を順次変調して符号化駆動信号として探触子に出力して超音波ビ 一ムを送波し、探触子から出力される各受信信号を先の逆符号セットの各変調符号に 対応する復調符号によって復調する第2の符号化送受信工程と、第2の符号化送受信 工程で復調した各復調信号を合成して第2の合成信号を得る工程と、 第1の合成信号と第2の合成信号を合成して第3の合成信号を得る工程と、 第3の合成信号に基づいて超音波像を再構築する工程とを有する超音波撮像方法

は、国際調査報告書で引用されたいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとっ て自明なことでもない。